

普及項目	その他
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

水産局情報共有による情報発信の推進

水産研究センター企画情報室・大塚 徹

【背景・目的・目標（指標）】

現場で活動する水産業普及指導員（以下「普及員」という）の活動情報は、水産施策上、非常に重要な情報である。関係機関が現場の状況を把握し、本県水産業の振興に係る施策に反映させていくには、普及員の活動情報を県関係機関に迅速かつ効率的に伝えていく必要がある。

このため、令和4年度（2022年度）に県庁内のネットワークシステム内に水産局職員限定のクローズドの情報共有の場「水産局情報共有」を設置し、普及員の活動情報等を迅速かつ効率的に情報共有する体制を構築しており、令和5年度も引き続き「水産局情報共有」による情報発信を行った。

【普及の内容・特徴】

普及員が、水産局職員限定の情報共有の場「水産局情報共有」にアップし、活動情報を水産局関係職員が迅速かつ効率的に情報を共有することにより、本県水産業の振興に係る施策に反映させることができる。

また、普及員は普及活動の情報を「水産局情報共有」で水産局関係職員が共有することの重要性を認識することにより、普及活動の内容の検討やとりまとめを意識する。

【成果・活用】

「水産局情報共有」では、あさりの現地調査やノリ養殖に係る栄養塩調査、新規漁業就業希望者に対する支援活動や熊本県産水産物の販売支援について、迅速に情報共有することができた。

広域本部水産課の普及員や水産局職員が、通常業務で作成する情報メモを「水産局情報共有」にアップすることにより、迅速かつ効率的に情報を共有する体制が構築できた。

また、水研の企画情報室が、定期的に「水産局情報共有」にアップされた普及活動等の情報を水産局職員に周知することにより、水産局内での情報共有の促進を図った。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

水産業普及現地情報

【タイトル】 尚綱大生による魚類養殖施設及び栖本水産加工場見学

【日 時】 令和5年(2023年)10月28日(土)

【出席者】 尚綱大学・短期大学生 12名 教員 3名
天草地区漁業士会 深川漁業士、濱漁業士

【内 容】

天草地区漁業士会は、平成30年に熊本市内の尚綱大学・尚綱短期大学部との食育推進活動実施に関する協定を結んでおり、学食への水産物の提供や、養殖マダイを用いた郷土料理教室などのイベントを開催しています。

今年度は、栄養士を目指す尚綱大生に養殖漁業者が行っている安心安全な水産物の生産現場の取組みについての理解を深めてもらおうと、天草のマダイ・ブリの養殖場及び栖本町にある水産加工施設を案内しました。学生や教員からは、「このような水産物の生産現場に直接触れることができる機会は少ない。実際に魚が養殖されている様子を見たり、生産者から直接話を聞くことができる貴重な経験ができた。」との声が聴かれました。

見学の後には、尚綱大学で開催されたマダイレシピコンテストにおいて、150レシピの中から選ばれた優秀作品上位10点の発表が行われました。高くなりがちな塩分を抑えるための工夫や、子供でも食べやすい味付け、調理方法についての解説もあり、漁業士及び海水養殖組合の職員からは関心の声が上がりました。

当課では、今後も漁業士会と尚綱大学が連携して水産分野と栄養学・教育分野の双方の専門性を生かした魚食普及に向けた有意義な取組みができるようサポートを継続していきます。



マダイ養殖筏見学の様子



レシピコンテスト優秀作品発表の様子

※漁業士：漁協と市や町から推薦され、浜のリーダーとして県が認定した漁業者

※天草地区漁業士会：現在天草地区の漁業士28名が所属し、漁業の振興を目的に活動中

【共用キャビネット掲載】可

【連絡先】

天草広域本部農林水産部

水産課 指導班 金棒千明



図 水産普及活動情報の一例